

事務事業名		地域生活支援基本事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		福祉課		事業種別	政策	開始	18	終了	
H28係等名		H28係等名 障害福祉係		H27係等名		障害福祉係			
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
		施策	34	障害者福祉の推進					
目的	対象(誰・何を)	1 65歳未満で在宅の身体・知的・精神障がい児者 2 奉仕員養成講座の受講申し込みをした市民					指標名及び単位		27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	1 障がいがあっても、積極的に社会参加し、自立した自分らしい生活を送ることができるようにする 2 障がい者等の支援に関心のある市民に、奉仕員になってもらう					65歳未満の在宅で各手帳保持者数(人)		1830
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して地域で日常生活が送れている割合					奉仕員養成講座の受講申し込みをした市民(人)		38
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	地域生活支援基本事業を利用している障害児者の件数／65歳未満の在宅で各手帳保持者の概算数 (%)			11	16	8	16	
	成果指標	奉仕員の登録をして派遣可能な人／奉仕員養成講座受講申込者 (%)			50	50	50	50	
定性目標									
事業概要	地域生活に必要なとなる、基本的な情報提供やコミュニケーション支援を行う。また障がい者を支援してもらえる奉仕員の養成を行う。 1 点字・声の広報 2 奉仕員養成研修補助 3 コミュニケーション支援事業 4 社会参加促進事業補助(IT・料理教室) 5 自動車改造・免許取得補助 6 【新】障害者の文化芸術振興事業(飯田市社会福祉協議会)								
27年度事業内容	事業内容				名称			活動指標	
	地域生活に必要なとなる基本的な情報提供及びコミュニケーション支援等を実施 (1) 点字・声の広報 (2) 奉仕員養成研修補助 (3) コミュニケーション支援事業 (4) 社会参加促進事業補助 ア パソコン教室(初級編・中級編) イ 障がい者料理教室 (5) 自動車改造・免許取得補助 (6) 自発的活動支援事業 ア 精神障がい者家族支援事業 イ ピアサポート活動支援事業 (7) 文化芸術振興事業【新】 ア 実施主体 飯田市社会福祉協議会 イ 開催期間 11月3日～11月8日 ウ 開催場所 飯田市美術博物館				(1) 実利用者数 (2) 実利用者数 (3) 実利用者数 (4) ア 受講者数 イ 受講者数 (5) 実利用者数 (6) ア 支援団体数 イ ピアカウンセリング講座 (7) 作品展開催数			(1) 46人 (2) 38人 (3) 46人 (4) ア 2人 イ 8人 (5) 5人 (6) ア 2団体 イ 2回 (7) 1回	
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		5,379	14,431	14,108	14,034	(国) 地域生活支援事業補助金(1/2) (県) 地域生活支援事業補助金(1/4)			
国庫支出金		1,633	3,007	4,862	4,771				
県支出金		816	1,504	2,431	2,385				
起債									
その他									
一般財源		2,930	9,920	6,815	6,878				
人件費計(千円)②		1,968		2,326					
正規職員所要時間		400		500					
臨時職員所要時間		500		500					
総事業費①+②		7,347	14,431	16,434	14,034				
事業内容・目標達成状況の振り返り	地域生活に必要なとなる基本的な情報提供やコミュニケーション支援ができた。								
改革改善の考え方	①問題点	障害者総合支援法から「意思疎通支援事業」として、コミュニケーション支援への強化が重要視されている。また、日中家族の方が居ない、介護者の方の高齢化など、精神、知的障がい者の方に対する地域の見守りや日中活動の場が求められている。在宅障がい者の方(施設に通所していない方)の社会参加の機会が必要。							
	②改革提案	手話による日常的な挨拶などの会話が、できる社会を目指すためにも、簡易な手話を広めていくことが必要。障がい者(特に在宅で暮らしている方)の文化芸術活動の振興を図るため、関係機関と連携し文化芸術活動の振興を図る。							